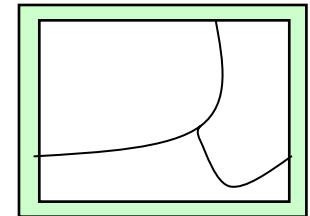
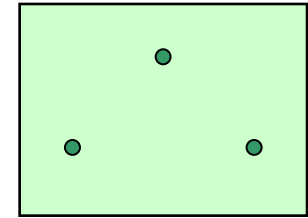
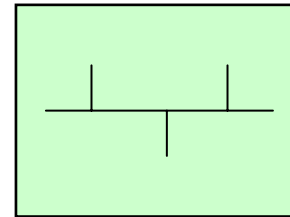


# ArcPadを用いた野外調査の事前準備

空間情報科学分野  
作成者: 水谷千亜紀

# ArcPadを使うには何が必要なの??

- まずは調査項目を決めて
- 調査項目の属性を決めましょう
- 次に形状を決める
  - ポイント, ライン, ポリゴン...



ここまでは設計書づくり(いわゆるデータベース設計)  
– 作業効率を左右するのでよく考えて  
– フィールドで不足を感じたらその場で修正もできるよ

ArcPadを使ってみよう!

# ArcPadでの作成の流れ

1. 調査項目 (Field) とその  
データ型の設定

2. スタイルシートの作成  
—Fieldの属性の設定

実際に右図「野外調査」レイヤ  
を作ってみよう！

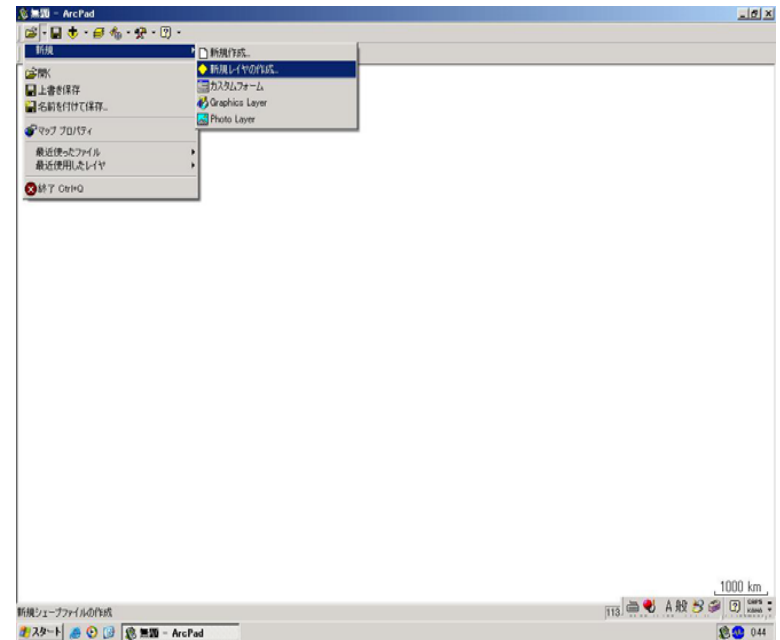
1. Fieldには『Gaitou(街灯の有無)』  
と『Annai(案内板の種類)』
2. 『Annai』には「案内地図」,  
「住居地図」,  
「矢印看板」の3種の属性



# ArcPadを使ってみよう(1)

## ～Field:GAITOUの設定～

1. 新規>新規レイヤの作成
2. 形状の決定:Point
3. フィールドの追加
4. フィールドの設定  
Fieldの名称:GAITOU  
データ型:Truth/False
5. 「OK！」



# ArcPadを使ってみよう(1)

～Field:GAITOUの設定～

1. 新規>レイヤの新規作成
2. 形状の決定:Point
3. フィールドの追加
4. フィールドの設定  
Fieldの名称:GAITOU  
データ型:Truth/False
5. 「OK！」



# ArcPadを使ってみよう(1)

～Field:GAITOUの設定～

1. 新規>レイヤの新規作成
2. 形状の決定:Point
3. フィールドの追加
4. フィールドの設定  
Fieldの名称:GAITOU  
データ型:Truth/False
5. 「OK！」



# ArcPadを使ってみよう(2)

～Field:ANNAIの設定～

6. フィールドの追加

7. フィールドの設定

Fieldの名称:ANNAI

データ型:テキスト

長さ:10(半角文字数)

8. 「OK！」



# ArcPadを使ってみよう(2)

～Field:ANNAIの設定～

6. フィールドの追加

7. フィールドの設定

Fieldの名称:ANNAI

データ型:テキスト

長さ:10(半角文字数)

8. 「OK！」





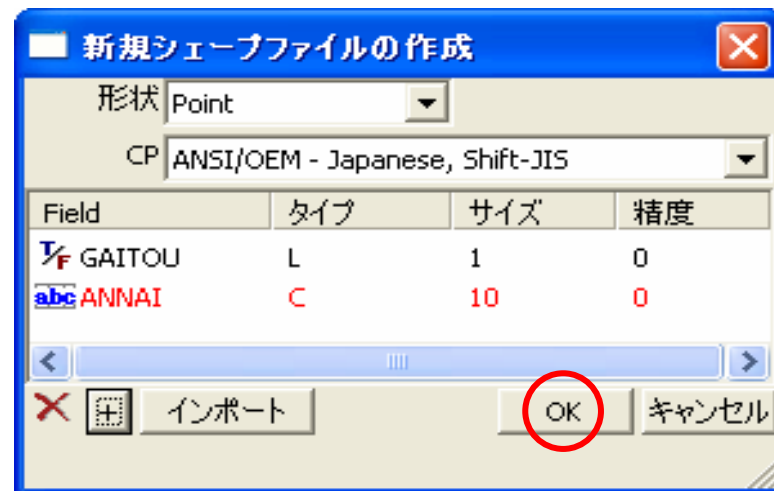
# ArcPadを使ってみよう(3)

## ～カスタムフォームの作成～

9. フィールドの項目を確認したら  
OK!

10. シェープファイルの新規保存  
ーファイル名: 野外調査

11. カスタムフォームを作成



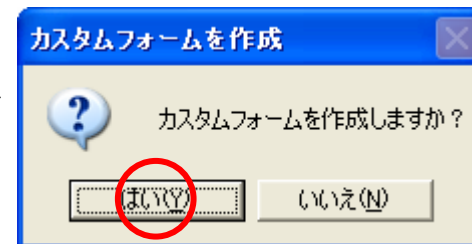
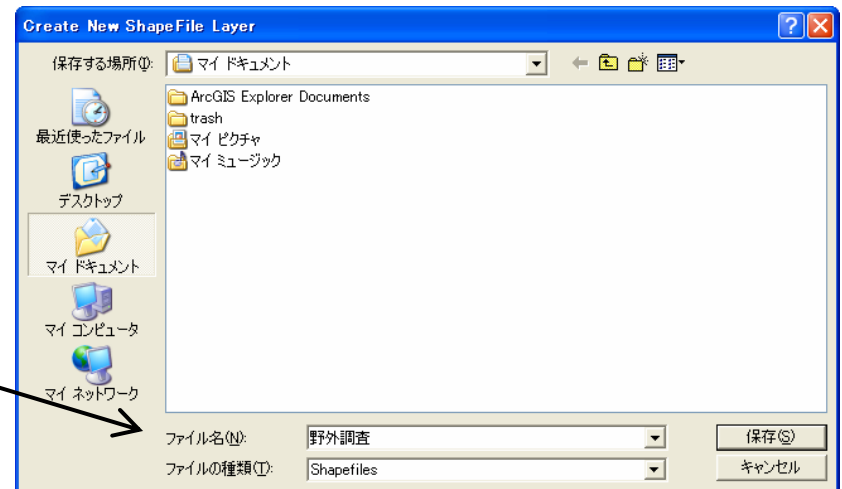
# ArcPadを使ってみよう(3)

## ～カスタムフォームの作成～

9. フィールドの項目を確認後,  
OK!

10. シェープファイルの新規保存  
ーファイル名: 野外調査

11. カスタムフォームを作成



# ArcPadを使ってみよう(4)

## ～カスタムフォームに属性を入力～

12. 制御タグを選択

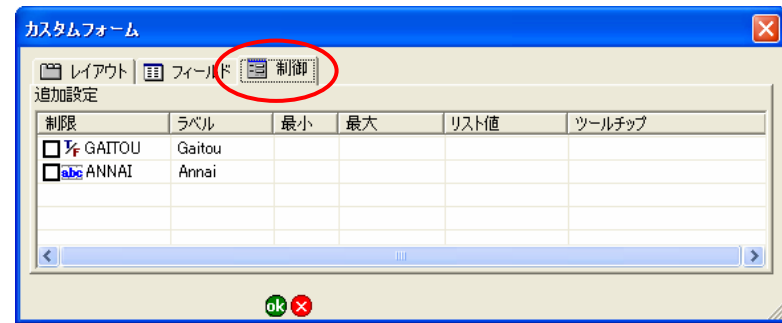
13. ANNAI>リスト値に属性入力

→案内地図,住居地図,矢印看板

【重要】

項目の区切りは半角コンマ『,』!

14. 「OK」できあがり!



# ArcPadを使ってみよう(4)

## ～カスタムフォームに属性を入力～

12. 制御タグを選択

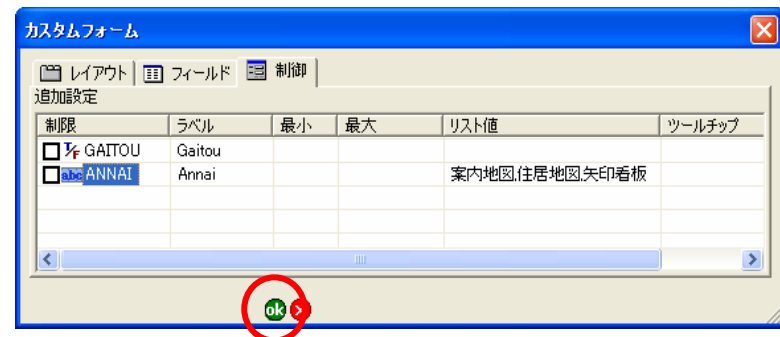
13. ANNAI>リスト値に属性入力

→案内地図,住居地図,矢印看板

【重要】

項目の区切りは半角コンマ『,』!

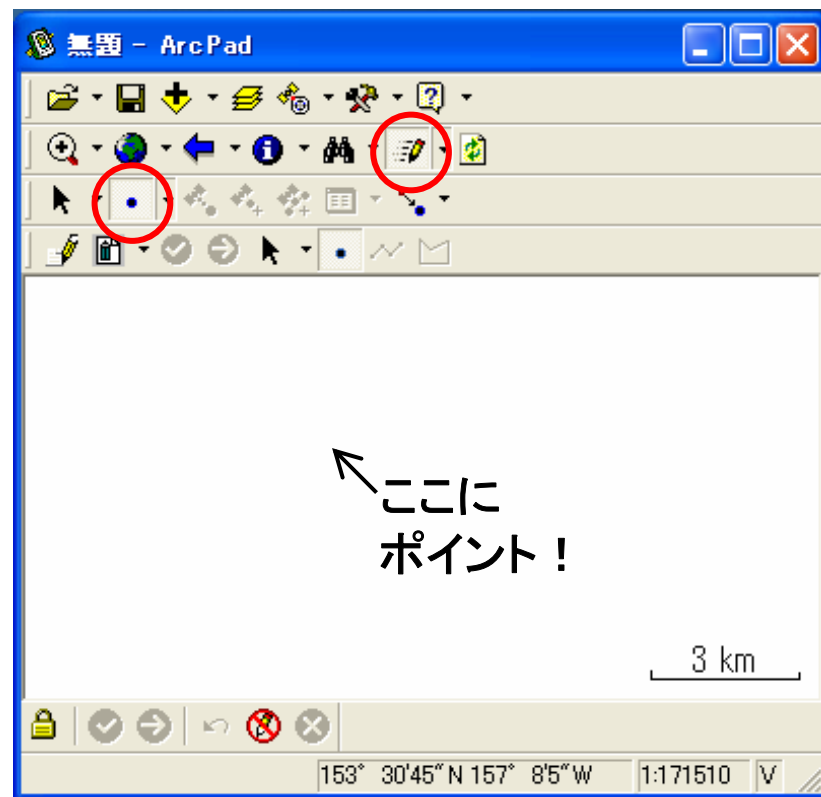
14. 「OK」できあがり!



# カスタムフォームを使ってみよう(1)

## ～属性の入力～

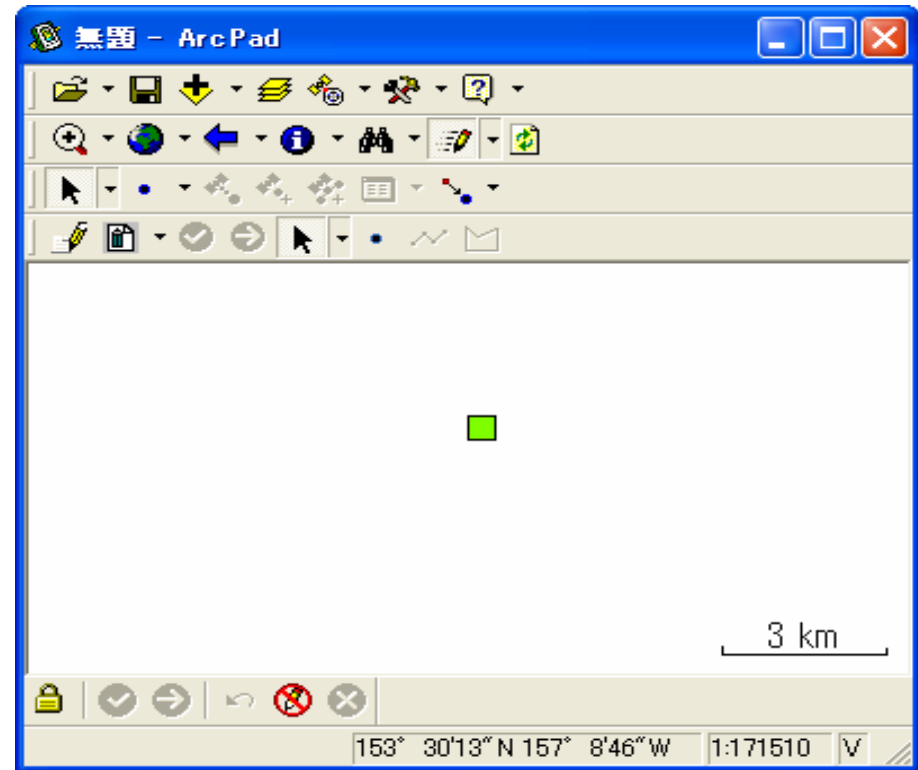
1. エディット>ポイントの追加
2. 属性の入力
  - ー『Gaitou』にチェック
  - ー『Annai』:住居地図
3. OK !



# カスタムフォームを使ってみよう(1)


～属性の入力～

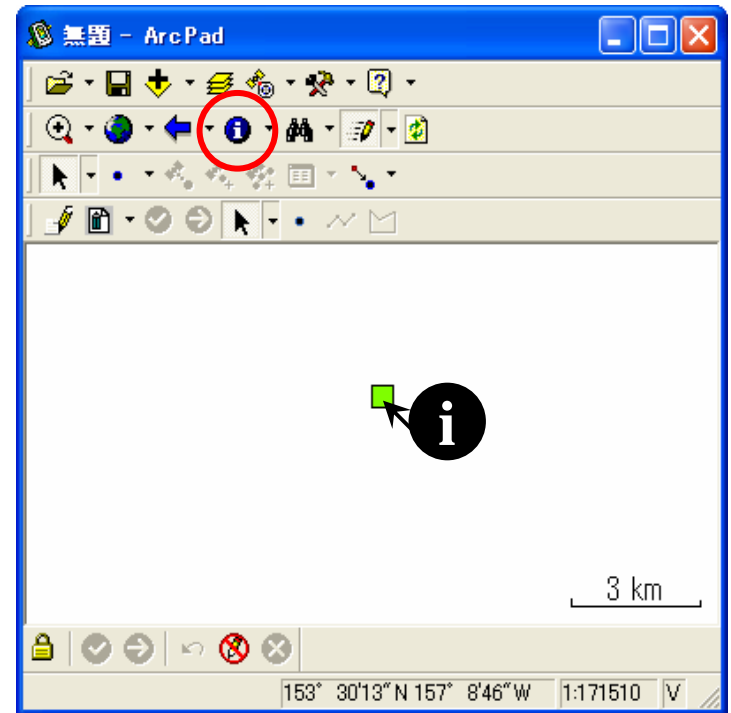
1. エディット>ポイントの追加
2. 属性の入力
  - －『Gaitou』にチェック
  - －『Annai』:住居地図
3. OK!



# カスタムフォームを使ってみよう(2)


～入力した属性の確認～

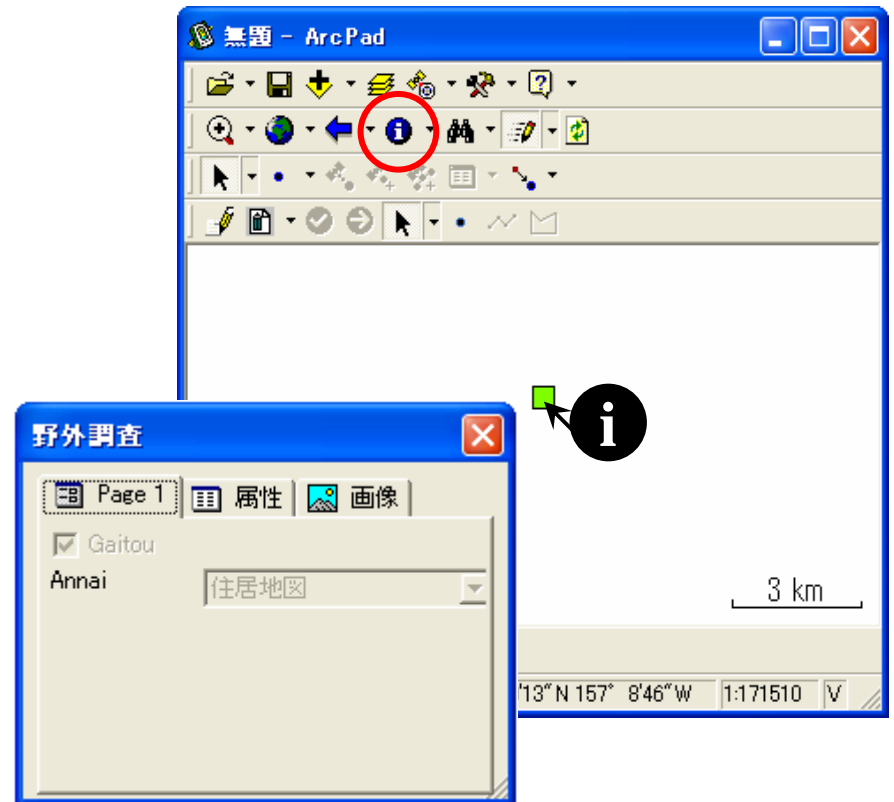
- 個別属性表示  で  
ポイントの属性確認
- ポイント属性の表示
  - 『Gaitou』にチェック
  - 『Annai』:住居地図
- OK!



# カスタムフォームを使ってみよう(2)

～入力した属性の確認～

- 個別属性表示  で  
ポイントの属性確認
- ポイント属性の表示
  - 『Gaitou』にチェック
  - 『Annai』:住居地図
- OK!





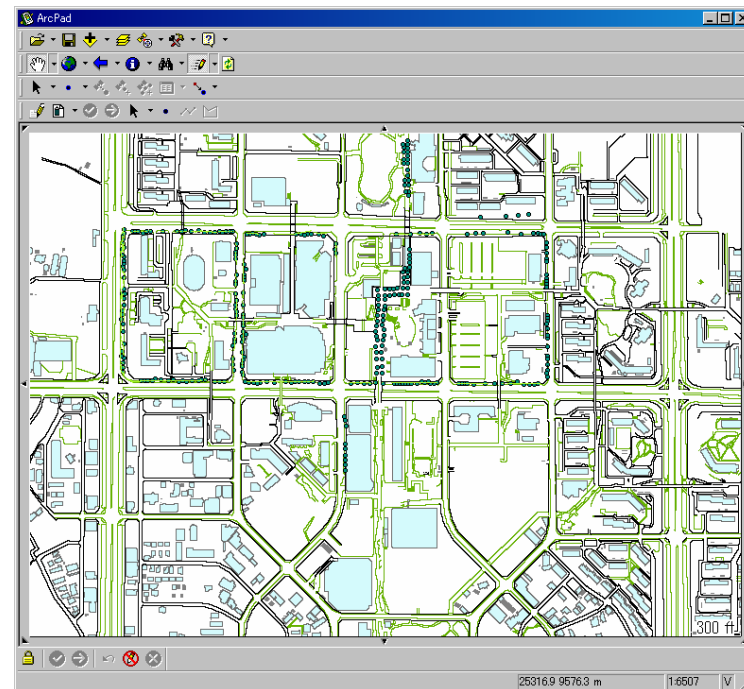
# まとめ

## ArcPadの利点

1. 調査データを直接ArcGISで処理できる
2. ArcPadを使うことで、野外での入力作業が簡単になる
3. 野外でもカスタムフォームを追加できる

## 事前準備

1. 調査項目とその属性の決定
2. レイヤ、スタイルシートの設定



初めは大変かもしれませんが、操作に慣れたら野外調査の強力なツールとしてあなたを助けてくれます。

さあ学内ArcGIS DownloadページからArcPadをPCにダウンロードしてみよう！！